

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	富士特別支援学校富士宮分校 P T A
学 校 名	静岡県立富士特別支援学校富士宮分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	76名

1. 使用状況

寄贈物品名	バスケットゴール・マット
使用学年及び人数	高等部1、2、3年生 全76名
使用頻度	週3日程度
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・体育バスケットボールの授業、女子バスケットボール部が部活動で使用している。 ・レクリエーションや昼休みなど使用している。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> 主として部活動で使用。 ・準備、片付けが容易で練習時間を多く確保することができるようになった。 ・昨年度から変わらず安全性も高い。 ・新しいゴールに慣れ、思い切りよくシュートを打つことができている。 ・体育館に近い形で練習ができ、試合でのシュート力が高まった。 ・以前に比べて昼休み等に使用する生徒が増えた。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちの運動意欲が向上している。 ・外に設置してあるため、ボードの劣化をメンテナンスしていく必要がある。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいゴールになってから、生徒たちの練習意欲も高まったと感じる。 ・扱い方に慣れ、準備や片付けに掛かる時間が格段に短くなった。

2. 活用の様子

- ・生徒たちから、「揺れないため思い切りシュートが打てる。」、「ボードの色がはっきりしていて見やすい。」、「マットの幅が広くて怖くない。」などの声が挙がっている。
- ・昼休みなど生徒同士で誘い合い、バスケットボールを楽しむ様子が多くなり、活発に活動している。

<部活動の様子



- ・より実践に近い練習が可能となり、外でも意欲的に練習に励んでいる。
- ・昨年度末にラインを引き直し、より体育館に近いかたちで練習ができています。